

別紙 4

J F A 第 2 9 回全日本 U-15 フットサル選手権福岡県大会 ＜競技上の注意＞

1 競技規則について

公益財団法人日本サッカー協会（以下「J F A」という）制定の「2022/2023 フットサル競技規則」にて実施する。なお、詳細については大会要項に依ることとする。

2 ユニフォーム及び用具について

- (1) ユニフォームは、J F Aユニフォーム規程に準じた正副 2 着（FP・GK 共）を着用すること。
- (2) GKがトラウザーズを着用する場合は、裾などにファスナーや危険物がついてないものを使用すること。
- (3) 試合で使用するユニフォームとビブスは、試合開始 60 分前に行うマッチコーディネーションミーティングで決定する。チームの代表者は、F P・G Kの正副 2 着（シャツ・ショーツ・ストッキング・トラウザーズ）と交代要員が着用するビブス 2 色を持参すること。マッチコーディネーションミーティングの時に持参していないユニフォームの着用は認めない。
- (4) 張り番号は四辺を確実に縫い付ける等、適切に処理されているものに限り認めるが、四点止め、テープ止め等は一切認めない。張り番号はマッチコーディネーションミーティングで主審の許可を得ること。
- (5) 半袖のシャツの下にアンダーシャツを着用する場合は、シャツの袖の主たる色と同色でなければならない。パワープレーにおけるG Kユニフォームにも適用されるので注意すること。
- (6) ストッキングはすね当てを完全に覆い、膝のところまで上げて着用すること。また、下部をカットする場合、ソックスの色はストッキングと同色あるいは同色となるようにすること。
- (7) シューズは、靴底の接地面が紺色もしくは白色あるいは無色透明の屋内用フットサルシューズを使用可能とする。ただし施設が許可した場合のみノンマーキングシューズの使用を認める。
- (8) 競技中にシャツの裾を出す又は出さないに関わらず、ユニフォームは安全で見苦しくなく且つマナーある着用を心がけること。
- (9) パワープレーのG Kユニフォームは、その試合に登録されたG Kユニフォームのシャツと同一のシャツを着用し、その競技者のF Pユニフォームと同じ番号を付けること。
- (10) 交代要員を含め競技者の用具は、試合前にチェックします。試合中に禁止されている装身具を着用していた場合、外すように注意されるので、事前に確認すること。
- (11) 爪については、長さ等により競技者として出場できないと判断されることがあるので注意すること。
- (12) その他も含めて、J F Aフットサル競技規則第 4 条「競技者の用具」を順守すること。

3 ピッチへの入場について

両チームの試合登録選手は、試合開始 5 分前にオフィシャル席前に整列すること。審判団

によってメンバー提出用紙及びJFA発行の選手証によって本人確認と、背番号及び用具のチェックを行う。チェックにより不備がある場合は入場は認められない。また、そのために、競技開始時刻を遅らせることもないので注意すること。

4 選手席・ベンチについて

- (1) 組合せ表の左側チームをホームチームとする。
- (2) ピッチ内（ベンチ、選手席を含む）には、その試合に登録された役員及び選手以外は入れない。
- (3) 接触や衝撃により人体等に影響が及ぶおそれのある選手及び役員のベンチ入りは認めない。
- (4) 競技中は監督及び役員、交代選手は必ずベンチに入り着席すること。
- (5) 競技中、交代選手はユニフォームのシャツの色と明らかに異なる色のビブスを着用すること。
- (6) テクニカルエリアは、自チームベンチの前にマーキングして設置する。その際、ベンチに入れる役員の中からその都度ただ1人の役員のみが立って競技者に戦術的指示を伝えることが出来る。
- (7) 交代要員のウォーミングアップは、指定されたウォームアップエリアで行うこと。その際、ボールは使用できない。ウォームアップエリアでゲームを観戦、応援あるいは指示を与えるなどの行為をしないこと。
- (8) テクニカルエリア内での電子通信機器等は、それが適切な機材であり競技者の保護や安全に直接関係する場合、あるいは戦術的またはコーチングの目的であり、役員の責任ある態度のもとで使用できることとする。
- (9) 競技中に必要があつてテクニカルエリアから離れる交代要員またはチーム役員は、第3審判の許可を得ること。
- (10) タイムアウト終了10秒前に予備ブザーを使用する。タイムアウト終了のブザー後は円陣等を組まず、速やかにリスタート出来るよう心がけること。

5 その他

- (1) 競技中に負傷者が出た場合、チーム役員は主審の許可を得たもの最大2名までがピッチに入ることができる。ただし、負傷の程度を見て負傷者を運び出すためであり、ピッチ内での治療は許可されない。
- (2) 競技中、ピッチ内での飲水は認められない。飲水は、タイムアウト中か自由な交代の際ベンチの指定された場所で行うこと。その際、飲料は真水のみとする。なお、ペットボトルのままでの持ち込みは禁止する。
- (3) スポーツドリンク等の飲料は事前に指定された場所以外での摂取は認められません。
- (4) タイムアウト中の交代は認められない。タイムアウト終了のブザー後に正しい交代を行うこと。（インプレーになる前に交代できる）。
- (5) 1stピリオド終了時の競技者がハーフタイムで交代する場合は2ndピリオド開始前に第3審判に通知すること。
- (5) 試合前、ハーフタイム中、試合後は周囲の人に対してリスペクトし、トラブル等を起こさないこと